



市議会だより

**岩手県山田町**

災害廃棄物仮置き場 約22ha

(船越公園、家族旅行村、
鯨と海の科学館など)

「震災瓦れきの状況等について」

平成24年6月27日

産業厚生建設委員会視察

滋賀県守山市野洲川歴史公園サッカー場
“ビッグレイク”「人工芝及び天然芝ピッチの
管理運営について」

平成24年7月4日

総務文教消防委員会視察



各常任委員会行政視察

※報告内容については、10～11ページをご覧ください。

平成24年6月定例会一覧

開会	6月4日	会期12日間
閉会	6月15日	
○本会議（主な内容）		
4日	会期の決定	
	提案理由説明	
	補足説明	
8日	代表質問・一般質問	
11日	一般質問	
	議案の委員会付託	
15日	委員長報告・質疑・討論・採決	
	追加提案	
	提案理由説明・採決	
	議員提出議案	
	提案理由説明・質疑・討論・採決	
	議員派遣	
○委員会		
11・15日	議会運営委員会	
12日	総務文教消防委員会	
13日	産業厚生建設委員会	
○議案の審議結果		
予算	（原案可決）	2件
条例	（原案可決）	4件
その他	（原案可決）	3件
その他	（原案承認）	1件
人事	（原案異議なし）	2件
議員提出	（原案可決）	2件
合計		14件

議会を傍聴しませんか。次回の定例会は9月です。

◇ 6月定例会 平成24年度一般会計補正予算 (2億5,718万6千円) 外13議案を可決

◇ 7月20日に第1回市議会臨時会を開催 海洋高校跡地整備工事請負契約を締結 (契約金額 2億2,995万円)

6月定例会

市議会6月定例会は、6月4日から15日までの12日間の会期で開催されました。

審議した案件は、平成24年度一般会計補正予算をはじめ、条例等の市長提出議案11件(追加議案2件を含む)、議員提出議案2件及び議員派遣の合計14件です。

審議の結果、市長提出議案の11件は原案どおり可決または承認、異議なしとされました。また、議員提出議案の2件と議員派遣につきましても原案どおり可決されました。

本会議

◇6月4日に本会議を開き、まず会期を15日までの12日間と決めた後に、平成24年度一般会計補正予算をはじめとした予算及び条例等の市長提出議案9件が一括上程され、市長から提案理由の説明がありました。

一旦、本会議を閉じ、全体委員会を開いて担当部課長から議案の補足説明がありました。

◇8日、11日は代表質問及び一般質問が行われ、13名の議員が市政一般に対する質問及び提出案件に対する質疑を行いました。

質疑終了後に市長提出議案を所管の各常任委員会へ付託しました。

◇最終日の15日には本会議を再開し、総務文教消防・産業厚生建設の

各常任委員長から、それぞれの付託議案の審査結果の報告があり、採決の結果、いずれも各委員長報告のとおり、賛成全員で可決されました。

その後、市長から人事案件として、滑川市人権擁護委員候補者に梶谷正夫氏(宮窪)、小沢政商氏(荒町)の推薦について追加提案され、それぞれ異議なしといたしました。

続いて議員提出議案2件の提案理由説明の後、採決を行い可決しました。

最後に議員派遣を議決して、6月定例会を閉会といたしました。

第1回臨時会

平成24年第1回市議会臨時会は、会期を7月20日の1日間と決めた後

に、工事請負契約の締結について外1件の市長提出議案及び報告5件が一括上程され、市長から提案理由の説明がありました。

次に、市長提出議案を所管の各常任委員会へ付託しました。

その後、本会議を再開し、各常任委員長から付託議案の審査結果の報告があり、採決の結果、いずれも各委員長報告のとおり、賛成全員で可決され、第1回市議会臨時会を閉会といたしました。

永年勤続議員表彰 及び感謝状贈呈

第88回全国市議会議長会が去る5月23日、日比谷公会堂で開催され、正副議長(4年)として、中川勲議員、永年勤続議員(10年)として、中川勲議員、開田晃江議員、浦田竹昭議員、古沢利之議員が表彰されました。

また、地方財政委員会委員としての功績に対して、中川勲議員、開田晃江議員に感謝状が贈呈されました。

日誌

24年5月	7日	災害に強いまちづくり 検討特別委員会協議会
	10日	議会運営委員会協議会 定例議員協議会
	12日	東京滑川会総会（東京都）
	17日	富山地域衛生組合臨時議会 （上市町）
	18日	滑川市議会議員研修会
	22日	県選出国会議員との懇談会 （東京都）
	23日	新川畜産公社通常総会、 理事会（魚津市）
	25日	全国市議会議長会第88回 定期総会（東京都） 天皇陛下下拝謁（東京都） 富山高山連絡道路（国道41号） 整備促進期成同盟会、富山外 郭環状道路整備促進期成同盟 会合同総会（富山市）
	28日	議会運営委員会 並行在来線等問題特別 委員会協議会 産業厚生建設委員会協議会 富山県日韓友好議員連盟 訪韓団派遣
6月1日	29日	富山県日韓友好議員連盟
6月6日	6月1日	定例議員協議会
4月15日	5日	6月定例会 北陸新幹線建設促進大会、 同盟会総会（東京都） 議会報編集委員会 産業厚生建設委員会
4月26日	15日	行政視察（岩手県）
4月7日	4月6日	総務文教消防委員会 行政視察（滋賀・福井県） 朝日滑川間国道・バイパス建設 促進期成同盟会通常総会 （魚津市）
9日	9日	東部山麓道路建設促進期成

代表 一般質問

6月定例会では13名の議員が質問を行い、39項目について市当局の見解を求めました。
質問と答弁の主な内容は次のとおりです。
（すべての質問等詳細を記録した会議録は、9月中旬頃までに、市立図書館に配付する予定です）
また、滑川市ホームページの市政情報には、議会会議録検索システムが搭載されておりますので、ご利用ください。
※質問者の最後のQは、掲載外の質問事項です。

10日	同盟会総会（魚津市） 議会報編集委員会 定例議員協議会
11日	上市町議会親善交流会（上市町） 兵庫県三木市より行政視察 群馬県大泉町より行政視察 沖田川治水対策促進期成
12日	北海道富良野市より行政視察 議会運営委員会 災害に強いまちづくり検討 特別委員会行政視察（兵庫県） 議会報編集委員会 全員協議会 第1回市議会臨時会 関西滑川会総会（大阪府） 姉妹都市那須塩原市議会来滑 北朝鮮に拉致された日本人を早 期に救出する富山県市議会議 員連盟定期総会（富山市） 富山地域衛生組合 7月定例会（上市町）
13日	北海道富良野市より行政視察 議会運営委員会 災害に強いまちづくり検討 特別委員会行政視察（兵庫県） 議会報編集委員会 全員協議会 第1回市議会臨時会 関西滑川会総会（大阪府） 姉妹都市那須塩原市議会来滑 北朝鮮に拉致された日本人を早 期に救出する富山県市議会議 員連盟定期総会（富山市） 富山地域衛生組合 7月定例会（上市町）
18日	災害に強いまちづくり検討 特別委員会行政視察（兵庫県） 議会報編集委員会 全員協議会 第1回市議会臨時会 関西滑川会総会（大阪府） 姉妹都市那須塩原市議会来滑 北朝鮮に拉致された日本人を早 期に救出する富山県市議会議 員連盟定期総会（富山市） 富山地域衛生組合 7月定例会（上市町）
20日	議会報編集委員会 全員協議会 第1回市議会臨時会 関西滑川会総会（大阪府） 姉妹都市那須塩原市議会来滑 北朝鮮に拉致された日本人を早 期に救出する富山県市議会議 員連盟定期総会（富山市） 富山地域衛生組合 7月定例会（上市町）
21日	関西滑川会総会（大阪府） 姉妹都市那須塩原市議会来滑 北朝鮮に拉致された日本人を早 期に救出する富山県市議会議 員連盟定期総会（富山市） 富山地域衛生組合 7月定例会（上市町）
24日	富山地域衛生組合 7月定例会（上市町）

代表質問



- 1 寺家、田中小学校の耐震化について
- 2 市庁舎、市民会館本館の耐震化について
- 3 震災瓦れき処理について
- 4 並行在来線新駅設置に対する市長の考えは
（会派＝一心クラブ） 中川 勲 議員

Q 寺家小学校、田中小学校の耐震化の方針は決まったのか。またいつまでに完成させるのか。

A 石川教育長 一日も早く子どもたちが安全で安心できる教育環境を整えたい。寺家小学校は耐震補強工事を基本として耐震化を図る。田中小学校は、昭和11年に建築され、木のぬくもりのあるすばらしい校舎であり、正門から見る正面側は木造のまま耐震補強をし、昭和62年に「富山の建築百選」に選ばれた校舎として残り、富山側の校舎を取り壊し鉄筋コンクリート造りで3階以上になる新たな校舎で改築したい。魚津側の校舎は取り壊し、平成24、25年度の2カ年で完成したい。

に、高齢者、身体障害者の安全のために、耐震化にあわせエレベーターの設置や省エネ、窓ガラスの補強にフィルムを張っては。

と考えている。放射性物質の量が1キログラム当たり100ベクレル以下であれば試験焼却できるとの考えで、県と立山町及び広域圏事務組合は、岩手県山田町からサンプル25リットルを採取し、測定の結果、1キログラム当たり40ベクレルを下回った。

A 上田市長 市庁舎にはエレベーターをつけたいと思い、計画に入れている。市民会館については、できる方向で検討する。窓はアルミサッシにかえる計画で、そのうえでフィルムを張りたい。耐震化等工事期間は平成25年2月から12月末を考えている。

Q 並行在来線が身近な生活路線となる方策の一つとして新駅の設置を。市長の考えは。
A 上田市長 今後、確実に高齢化社会が進む中において、本市として公共交通機関利用の利便性向上を図ることは重要な課題と考えている。県の調査結果を参考に、市としても独自に新駅設置推進の立場から、可能性について検討を進める。

Q 瓦れきの処理を富山地区広域圏での受け入れ案に対する市長の考えは。

A 上田市長 震災瓦れきが被災地域の復興計画に支障を来している。本市としても、発生した瓦れきのうち安全なものについては助け合う必要があ

Q 市庁舎、市民会館本館

る。放射性物質の量が1キログラム当たり100ベクレル以下であれば試験焼却できるとの考えで、県と立山町及び広域圏事務組合は、岩手県山田町からサンプル25リットルを採取し、測定の結果、1キログラム当たり40ベクレルを下回った。

一般質問



1 市民会館大ホール耐震指標問題について
2 児童館の改築について
3 地震・津波について

森 結議員

Q 市民会館大ホールの耐震工事、改築を含めた第2期街づくり交付金事業を中止したのはなぜか。

A 上田市長 企画段階から住民参加や計画への

住民意見の反映が不十分であった。計画を元に戻してしっかりと新しいものを建てて市民の負託にこたえようと判断した。

Q 庁議の会議録がないのが調査の進まない原因と

考える。記録は残すべきであると思うが今はどうなっているか。

A 上田市長 今はちゃんと記録を残すことにしている。

Q 市民会館大ホールの耐震指標があまりにも低いと疑問に思ったのは市長自身か。

A 上田市長 市職員が発

見した。職員自らが疑問に思い耐震診断をした会

社に問い合わせ、途中から私に報告があった。

Q 耐震指標の改ざんの真相はどうあれ市長在任中は改築、改修はないか。

A 上田市長 屋根の部分

だけが強調されて指摘があった。補強の仕方をどうすればよいのか精査したい。

Q 児童館の改築は急務で

ある。市長の任期中に基本構想、基本設計をする気はないか。

A 上田市長 基本計画は

任期中に作りたい。児童館は是非木造にしたい。そして滑川市有林の杉材を使いたい。今は耐震の問題に集中しており、こ

れが終わり次第となるが、平成27年度までの計画が遅れることは絶対やってはいけない。

Q 設置場所であるが現在地、スポーツ・健康の森

エリア、サン・アビリティーズ滑川と考えるが費用も少なく、健康の森

も近くサンアビが最適と思うがいかがか。

A 上田市長 サンアビの

建った経緯やいきさつを調査しなければならなし、その部分だけで考えず広い範囲で考えたい。

Q 地震や津波はいつ頃発

生すると想定されるか。

A 折田総務課長 県の津

波シミュレーションでは3千年から5千年に一度程度と想定され、発生時期はわからない。

Q 地震、津波に過剰に反

応していないか。

A 折田総務課長 大震災以降、防災意識は高まっ

ており生命と財産を守るため過剰とは考えていない。

一般質問



1 福祉施策について
2 積極的な予算執行について
3 社会資本整備事業について

前田 新作議員

Q 市内企業の障がい者雇用率の実態はどうなっているのか。

A 小幡産業民生部長 ハ

ローワーク滑川管内の実態は公表されていないので、富山労働局単位では、従業員56人以上の企業数854社、法定雇用率達成企業467社で54・7%となっている。

Q 滑川市役所の実態はどうなっているのか。

A 折田総務課長 市役所は職員数の2・1%が義務づけられているが、2・5%で法定雇用率は達成している。

Q 生活保護受給者の滑川

市の実態はどうなっているのか。

A 小幡産業民生部長 平

成23年度は、年平均で67世帯、受給総額は1億2千9百万円で、対前年比で、世帯で5世

帯、受給額で1千6百万円の増となっている。

Q もっと歳入をきちんと立てて、市民要望にこたえるべきでないか。

A 上田市長 不慮の事故

等が起きたときのための備えであり、短期間だけでは判断しにくい問題もあり、中期に見ながら今おっしゃった趣旨も考慮しながら、運用に努めたい。

Q 今年度予算化された事

業で既に財源がなくなっている「明るく元気なまち推進事業」、昔は「滑川市手づくりで住みよい村づくり事業」というこ

とで、生コン等原材料支給の事業が既に満杯になっていると聞いている。こういったものについて、不足した場合補正していただきたいが、どうか。

A 上田市長 おっしゃるとおりだ。補正する。

Q 早月川左岸の開発整備のうち、堤防道路の第2期工事8号バイパスから

旧8号までの整備と親水性（低水）護岸の上部の河川敷整備はどうなっているのか。

A 東建設部長 国道8号

から旧国道8号までの堤防道路第2期工事及び早月川リバーサイドプラン21による早月川左岸開発のいずれについても、補助事業での採択も期待が

薄く、費用対効果や近年の社会情勢の変化と厳しい財政状況から事業化は難しいと認識している。

現在は、早月川左岸の入会橋から養輪までの東部山麓道路の新設工事に全力を注いでいる。

一般質問



1 滑川市の企業誘致の課題と今後の取り組みについて
(1) 企業誘致を進める際の問題点は何か
(2) 企業立地の計画整備の当局の方針を問う
2 市の遊休地の売却について

砂 原 孝 議員

Q 企業誘致については、昭和37年低工法の地域指定を受け、市も単独での助成制度を定め企業立地に努力されてきた。滑川市機械工業センター、滑川鉄工団地、安田工業団地等、市で工場用地を造成しながら立地誘導をしてきた。その成果は県内市町村別製造品出荷額において平成20年が2千63億円、22年が1千9百42億円で県内人口1人当たり第1位の数字を維持している。平成24年工業団地造成事業特別会計は、872万余円を償還し終えるわけであり、今後の企業誘致に対し過去を総括し今後企業誘致を進める際の一番の問題点は何か。

A 碓井商工水産課長 近

年限られた面積の中で利

便性や工場排水の排出先の確保、周辺住民の生活環境に配慮しながら整備を行うべきものであり、とりわけ専用排水路等の確保が難しい問題となっている。

Q 市は第4次総合計画で定住人口の拡大は市の活性化に重要であり、施策の中で企業誘致の推進を計画の10年間でやろうとするならば、もうすでに検討すべきと思うが基本方針を問う。

A 上田市長 企業が進出

されるようにゾーンを指定し、遅ればせながら真剣に取り組む必要があると思う。この10年間の問題が置き去りになっていったことを反省し頑張らせていただきたい。

Q 平成24年度予算措置を見ても企業誘致に関する

予算はゼロであり、来る新しい予算の時期にはこのことを念頭に置き、予算措置されるよう要望する。平成23年土地開発公社解散により市の遊休地は2万2千7百73平米（6千9百坪）であり、24年に入ってから売却の実績と今度の方針は。

A 杉田財政課長 昨今の

地価下落状況から平均10％程度値下げを行ったところである。本年4月以降現在まで4件合計1千8百万円余りの実績である。現在も何件か話があるので担当職員と共に努力しているところである。市場の状況をにらみながら民間に追随し、遅れないように価格の改定等適宜見直しながらやっていきたい。

一般質問



1 小水力利用促進について
2 ふるさとの振興策について
3 早月川左岸道路の整備について

浦 田 竹 昭 議員

Q 本市には、早月川を源流とした豊富な水資源と整備された用水網、この地の利を活かすためにも、その包蔵水力の調査、並びに小水力発電の設置可能箇所の調査の実施について問う。

A 久保副市長 今年度は、

県の農村整備課で農業用水小水力発電適地調査事業が実施され、県内で新たな小水力発電やマイク口発電の候補地の調査・検討がなされる。本市では、大崎野用水路ほか約15路線が対象予定となっており、その結果によって包蔵水力が把握できるものと考えている。

Q 今年のお盆に、下大浦の西光寺で昔ながらの盆踊りが復活する。新川古代神・松坂踊りなどの昔ながらの輪踊りの盆踊り

は、まさに地域の伝統であり文化である。この地域の伝統・文化の保存、次世代への継承の観点から、この盆踊りをDVDに記録・保存できないものか。また、DVDの希望者への販売も含めて見解を問う。

A 嶋川生涯学習・スポーツ課長

新川古代神・松坂踊りなど、郷土の文化・伝統は、先人たちが残した財産であり、後世にしっかりと伝えていく必要があることから、新規事業として新川古代神踊りの原型となる踊りをDVDで保存していきたいと考えており、販売についても今後検討していきたい。

Q 市内全域で、年間を通じて直接行き来できない地域が、養輪だけであり、早月川左岸道路の整

備が待たれるところである。この道路は、東部山麓道路としての位置付け、北アルプス横断道路へのアクセスとして、また、みのわ温泉の活性化にもつながるものであり、その整備の現状、今後の予定について問う。

A 東建設部長 この道路

は、入会橋から養輪地内までの約2・5キロメートルについて、主要地方道宇奈月大沢野線の新設路線として、平成20年度から県の単独事業として着手されており、今年度は上流部側の詳細設計と河川占用協議を行い、引き続き盛り土工事を行う予定である。本路線は、本市の重要要望路線でもあり、一層の事業促進を県に強く要望をしている。

一般質問



1 子ども第一主義を掲げる滑川市における教育環境等について
2 消防広域化について
3 北陸新幹線開業後の公共交通網の今後の方向性について
水野 達 夫 議員

Q 田中小学校の耐震補強の方針を決定された決める手は何か。

A 石川教育長 建設当時の学校建築の文化的価値が非常に高い。一方、老朽化が進んでおり、冬場も非常に寒い思いを子どもたちにさせている。この両方の観点から、最終的に、地域の皆さん方の愛着のある部分は現在のまま耐震補強をする。富山側は、普通教室、特別教室を鉄筋コンクリートで改築するという提案をした。

Q 5月に射水市立塚原小学校の通学路で路肩の白線を30センチから80センチに拡幅して引き直した。これを通学路で実施できないか。

A 石川教育長 各学校の点検結果を踏まえながら、必要なところについて

では公安委員会等の意見を聴きながら設置に向けて検討している。

Q これまでに実施した「ふるさと教育」の内容は。

A 石川教育長 副読本の作成、テレビ寺子屋によるふるさと教育講座の番組放映、今年度からの新規事業として小学5年生を対象にした市内企業見学、あるいは新川古代神踊り・松坂踊り等のDVD化等、いろんな面でふるさと教育の振興を図っていききたい。

Q 消防組織法の一部を改正する法律案の付帯決議の中の一つに「広域消防運営計画作成にあたって、消防職員に情報を開示し、職員の意見反映を図ること」とあるが、どこまで職員の意見が反映されているのか。

A 金山消防長 職員の半数近くが担当者会議に係っており、言葉にあらわさなくても流れは皆さんに行き渡っていると思う。

Q 並行在来線と並行している地鉄の路線維持確保について、要望にとどまらず、積極的に話し合うべきだと思いがいかか。

A 久保副市長 今後、呉東地区の富山、上市、滑川、魚津、黒部と線路がつながっており、新幹線、並行在来線の関係で地鉄の経営をどうしていくのか、本気の話し合いを持つていかなければならない。当面、県の並行在来線対策協議会に地鉄も入っているので、働きかけをしていきたい。

Q 聴覚に困難を抱える人が増えている。障害等級6級以上は、本人負担1割で補聴器が給付される。6級はかなり高度の難聴だ。日常生活に不便を感じていてもそこまで至らなくて、自費で購入する方はつかんでいるか。

A 岡本福祉介護課長 身体障害者手帳に基づく聴覚障害者は把握しているが、それ以外の方は把握していない。

Q 聴覚に困難を抱える人が増えている。障害等級6級以上は、本人負担1割で補聴器が給付される。6級はかなり高度の難聴だ。日常生活に不便を感じていてもそこまで至らなくて、自費で購入する方はつかんでいるか。

A 岡本福祉介護課長 身体障害者手帳に基づく聴覚障害者は把握しているが、それ以外の方は把握していない。

Q 補聴器は本人に合ったものが必要で、調整も必要だ。それを補完するものとして「磁気ループ」(ヒアリングループ)を提案したい。アンプにつないだループ状のケーブルに音声信号を流し、発生した磁界をテレホンコイル内蔵の補聴器で受信すれば、周囲の雑音が入らずに聞こえる。難聴者の社会参加の手段として有効。市内での設置を検討されたい。

A 岡本福祉介護課長 磁気ループは、県内では県の聴覚障害者センター、富山市の総合社会福祉センターに常設型としてあると聞いている。テレホンコイルつきの補聴器以外では専用受信機が必要であり、会議等では手話のほうが早く伝えられることなどから、利用状況は低いと聞いている。まだ広く普及していないこともあって、公共施設への導入は現在考えていない。関係機関等の意見を聞きながら研究したい。

Q 県内では知られていないが、都道府県で格差がある。加齢による難聴では手話ができない人が多い。検討を求めたい。

A 石川教育長 学校司書の効果は非常にあるので今後も充実に努めたい。その他の質問事項

Q 水道水源保護の条例制定について

A 石川教育長 学校司書の効果は非常にあるので今後も充実に努めたい。その他の質問事項

一般質問



1 難聴者福祉について
2 学校図書館司書の充実について
古沢 利 之 議員

A 上田市長 初めて聞くことばかり。勉強させていただく。

Q 学校図書館の司書配置は現在、時間限定だが4名が配置されている。この事業の評価は。

A 石川教育長 平成14年から4名で9校すべてに配置している。担任と司書が連携し、図書室の利用増につながったと聞いている。非常に効果的だった。

Q 遅まきながら、司書配置に交付税措置された。これを活かして一人一校の体制にされたい。

A 石川教育長 学校司書の効果は非常にあるので今後も充実に努めたい。その他の質問事項

一般質問



1 ほとたるいか音頭体操作成を提案する
2 災害に対する各家庭での備えを促す方策を問う
3 市長の発言に慎重さを求める

高 木 悦 子 議員

Q 介護予防、生活習慣病

予防には、日々の継続した運動が必要と考える。

徳島県の阿波踊り体操の

滑川版ほたるいか音頭体

操をつくり、市民全体の

健康づくりができない

か。

A 岡本福祉介護課長 3

年前に「滑川市介護予防

元気いきいきはつらつ体

操」を制作している。

Q 「明日があるさ」のも

のは知っているが、なか

なか浸透していない。3

年経過し、バージョン

アップした次のステップ

に踏み込むべきでは。

A 岡本福祉介護課長 今

後、改善の余地があると思

うので、努力したい。

Q 「滑川市木造住宅耐震

改修支援事業」の、過年

度の利用件数は。

A 児島まちづくり課長 平

成17年度から23年度まで

の利用実績は2件だ。

Q 住宅の耐震診断に対す

る費用助成制度の、滑川

市の過去の利用件数は。

A 児島まちづくり課長 平

成15年度から35件だ。

Q 耐震費用は平均で150万

円程度と言われる。居間

や寝室だけでも安全確保

するなど、60万円の助成

の範囲内（30万円自己負

担）でできる耐震方法な

どを周知すべきでは。

A 児島まちづくり課長 耐

震改修支援事業は住宅全

体を対象としており、居

間や寝室などの部分的な

補強に対する補助は行っ

ていない。

Q 建物全体の耐震をしな

いと補助対象とならない

「だから何もしない」と

いう選択肢になっってい

る。もっと使いやすい制

度に改められないか。

A 上田市長 使い勝手が

悪い制度は見直さなければならぬ。市独自でこの補助等を考えるよう検討していきたい。

津波の前及び家屋倒壊の前に、家具の転倒を防ぐことが第一。恵那市の「高齢者宅の家具転倒防止金具取付ボランティア作戦」のような取り組みはできないか。

A 岡本福祉介護課長 市

全体の事業実施は難しい。今後、防災訓練等

で、家具の転倒防止の周

知を図っていききたい。

Q 市長には、市民の代表

という立場も、行政の長

としての立場もある。場

面に応じた発言の慎重さ

に欠けていないか。

A 上田市長 当たらずとも遠からず。反省すべきところは反省する。

一般質問



住民の安全・安心について

中 島 勲 議員

Q 中川河口から上市川河

口に至る防潮堤の安全対

策を含む防災対策を早急

に実施せよ。

A 三浦建設課長 現在、

県では、津波対策による

海岸保全施設の検証が必

要であるとして、今年度

中に状況、地質調査など

の耐震点検を実施し、こ

の結果を受け、来年度以

降に耐震対策や津波耐力

強化工事を実施する予定

である。また、市も実効

性の高い施設を重点的に

実施するよう国、県に強

く働きかけていきたい。

Q 発表された津波シミュ

レーションに沖田川放水

路が完成したときの逆流

した浸水予想が入ってい

るか。

A 池本総務部長 県のシ

ミュレーションは、あく

までも現時点での状況で

調査されており、そこま

では想定していないと考

えている。

Q マップは上市川も中川

も逆流するという大前提

になっており、沖田川が

逆流するとすれば、田中

小学校のほうの浸水状況

も変わってくる。防災機

能も持たせた田中小学校

にしたいなら、どうい

うことを考えているか。

A 池本総務部長 津波対

策は、従来の地域防災計

画では、大きなものは来

ないということで大きな

取り扱いはしていなかつ

たが、県のシミュレー

ションが出されたことに

基づき、いろいろと提言

いただいたことも踏ま

え、地域防災計画の中に

反映させていきたい。

Q 緊急時における学校か

ら家庭への連絡方法はど

のようにされているか。

A 山岸学務課長 各学校

において緊急連絡カードや連絡網を作成したり、教育安全情報提供サービス（メール）を活用したりし、子どもたちの安全・安心の確保に努めている。

Q メール是件だが、具体的にどうやっているのか。

A 山岸学務課長 県の総合教育センターが中心になり、各学校と連携してシステムを構築し、メールアドレスを学校に登録した保護者に学校から送信するシステムである。

Q 災害があったとき、学校のパソコンが使えないときのバック体制はなっているのか。

A 山岸学務課長 そこまではできていない。その他の質問事項

Q 市税の収入状況について

Q 全国高校総合文化祭について

一般質問



1 市公共施設の運営について
2 農業問題について
3 災害に強い「人」づくりについて

原

明議員

Q パノラマレストラン光彩の営業時間は、3月から8月までが11時から21時、9月から2月までが11時から17時となっている。9月からは秋の観光シーズンを迎え多くの観光客が滑川を訪れる時期の営業時間を早急に見直すべきではないか。

A 碓井商工水産課長 営業時間については延長すべきであると考えている。時期や時間の延長については、過去の実績調査を行い、新しいメニューに加え、攻める営業展開により来客数の増加を図りたい。また採算面について十分に検討し、営業時間や何月までか検討していきたい。

Q 社長としての上田市長の考え方は。

A 上田市長 指摘されるまでもなく17時に閉まる

のはレストランとしての体をなしていない。秋は秋、冬は冬のメニューで戦略的にやっていかなければいけないと思う。

Q 市民交流プラザ内、3階部分の貸し部屋使用時間と料金体系の見直しを。

A 岡本福祉介護課長 使用時間の区分は、午前の部、午後の部、夜の部、日中の部、午後からの部、丸1日の6区分になっており、今後ともご意見を伺いながら、市全体のことも総合的に勘案し、検討していきたい。

Q 人・農地プランを進めるスケジュールは。

A 膳亀農林課長 現在、農業者の意向を把握するためのアンケート調査を実施している。今後アンケートを取りまとめ、素案を作成し各地区・地域

で説明会を兼ねた座談会を実施する。プランの完成は年内を想定しており、遅くとも次期作付計画の前までに完成したい。

Q このプランにおける農地集積の最終的な目標は何か。

A 膳亀農林課長 現在の農地集積率は46・5%であり、目標については、平成27年度に60%と設定している。

Q 災害に強い「人」づくりを目指し防災士の養成を進めていくべきと考えるが。

A 折田総務課長 災害に強いまちづくりの構築には、「人」づくりが最も重要と認識している。防災士の養成については、今年度消防職員4名の資格取得を予定している。

一般質問



指定管理者制度について

石倉 正 樹議員

Q 成果は出ているか。大きな問題点はあったのか。今後も続けるのか。増える見込みの施設はあるのか。

A 池本総務課長 管理者の総意工夫による効果的管理により、制度導入の平成18年度と本年度との比較で、全体で年間千五百万円程度の経費が縮減され、一つの効果である。利用者が大きく伸びた施設もあり一定の効果は挙げているものと考ええる。特段大きな問題点はなかったと認識している。効果的で質の高い行政サービスを提供できるものと考え今後も続けていく。現在整備している「スポーツ・健康の森公園」については、完成後の管理運営は指定管理者制度が効果的と考えている。

Q 指定管理者 滑川市体育協会の所管する3施設、運動公園、総合体育センター、下梅沢テニスコートについて、市民のために使用しやすく管理されているか。利用者数の増減は。他市町村の利用について滑川市民との優先順位はあるのか。

A 嶋川生涯学習・スポーツ課長 使用者数は大体順調に伸びており多くの市民の方が利用しているものと考ええる。優先順位については、市が主催する大会を最優先とし、次に市内の競技団体の大会、その次に県大会、その他ということにしている。

Q 指定管理者 滑川市文化・スポーツ振興財団の所管する4施設、市民交流プラザ、市民会館、ゲートボール場、みのわテニス村についてはどう

か。また、15年間同時期に利用していた方が、申し込み順という理由で断られた。確認等の配慮があってもいいのではないか。

A 杉田財政課長 市民交流プラザは総じて研修施設、貸し部屋の利用率は年々上がっている。あいらぶ湯も一旦減少したが昨年度は増加に転じた。市ゲートボール場はほぼ横ばいである。市民会館は下がってきている。大きな大会や毎年恒例的に行われているものは優先的に対応しており、その他については先着順の形で運用しているが、毎年同時期に開催しているにもかかわらず確認しなかったのは反省すべきと思う。

その他の質問事項
Q 防災の取り組みについて

一般質問



1 東滑川駅の整備について 2 明るく元気なまち推進事業について

岩城 晶 巳議員

Q 市議会特別委員会でも第三セクターの利用増、

利便性への考慮及び新しいまちづくりの観点から新駅設置の決議がなされている。隣の魚津市でも、のぼり旗を掲げて設置運動がなされている。滑川のまちには、中滑川駅、滑川駅と2つあり、それを3つにするということとで薄っぺらいまちになる。新駅に反対しているわけではないが、設置場所は中滑川駅と、トータル的に考えねばならないのではないかと。新駅とともに在来線の整備という思いを当局の皆さんにもっていただきたい。特に東滑川駅について、駐輪場の整備、パークアンドライドとしての整備及び山側からの入場口の設置と整備についてお聞きしたい。

A 富士原課長 駐輪場の整備は平成21年度の整備を以て完了と認識している。パークアンドライドの整備は、駅前に公営の駐車場と民間の駐車場と2カ所があり、まだ若干余裕があることから、利用促進の観点からも、利用状況は注視したい。山側からの入口設置は跨線橋の新設等が求められている現状があるが、跨線橋を新しく設置する場合は、エレベーターもつけねばならず費用がかかるという大きな壁がある。市全体の公共交通体系の充実の観点から、その優先度も含めて議論すべき案件と認識しており慎重に対応していきたい。

Q 明るく元気なまち推進事業について、今年度は5月末締切り前にオーバーしたが、どれくらい

金額がオーバーして、何件ほど申し込みがあったのか。

A 富士原課長 今年度においては28件で、申請金額は31万2千円というところで、13万2千円が超過した。

Q 上田市長から「足りない分は補正を組んでもやる」という言葉があったがこれは間違いないか。

A 上田市長 はい。



山側から見た東滑川駅

その他の質問事項
Q 資本の整備について

一般質問



1 防災減災ニューディール対策について 2 福祉政策について

野末 利 夫議員

Q 緊急災害時に対応するためのBCP、事業継続計画策定支援の取り組みについて。

A 碓井商工水産課長 中小企業庁では、中小企業BCP策定運用指針を定めてホームページで公開しており、商工会議所、中小企業団体中央会等にも相談窓口が開設されている。市としては、現在のところ具体策がないことから、他市町村の動向を注視していきたい。

Q 防災教育アドバイザーを派遣し、児童・生徒への授業と教諭対象の研修会を実施しては。

A 山岸学務課長 文部科学省の研修を受けた市内の教頭を講師として、各学校における防災教育の主たる担当者である教頭を対象にした研修会を、

5月に実施している。この研修会を踏まえ、各学校において、防災マニュアルの見直しを進め、災害別の避難訓練を実施するとともに、子どもたち

に防災に関する教育指導を行っている。

Q 橋梁の長寿命化、修繕のスケジュールと修繕時期について。

A 三浦建設課長 今年度より国の補助採択を受けて、橋梁の長寿命化修繕計画を策定しており、今年度中には市道にかかる2メートル以上の297橋について橋梁点検を実施し、来年度には橋梁点検に基づき長寿命化修繕計画を行う。橋梁の修繕補強工事は、長寿命化修繕計画策定後の平成26年度以降に国の補助採択を受け実施したい。

Q 小中学校施設の防災機能の向上について。

A 山岸学務課長 施設内での保管スペース等の問題もあり、学校とも十分協議し防災計画の中で位置づけたい。

Q 研修を受けた60歳以上のシルバー世代を、妊産婦のいる家庭の家事や育児を支援するため派遣する事業で子育て支援とシルバー世代の生きがいづくりとして実施しては。

A 小幡産業民生部長 県のほうで人材を育成して子育てサポーターとして地域において活動している子育てシニアサポート事業が実施されている。妊産婦のいる家庭の家事や育児支援の実績はないが、依頼があれば派遣はシルバー人材センターでは可能とのことである。

委員会

6月定例会の委員会の

審査から

6月定例会の各常任委員会では、付託された議案について慎重に審査が行われました。主な項目等は次のとおりです。

■総務文教消防委員会

審査議案は3議案であり、いずれも原案のとおり可決または承認すべきものと決定しました。

▼平成24年度滑川市一般会計補正予算（第1号）

◆地方自治法第179条による専決処分の承認を求めることについて
◆不動産の処分について

■産業厚生建設委員会

審査議案は8議案であり、いずれも原案のとおり可決または承認すべきものと決定しました。

▼平成24年度滑川市一般会計補正予算（第1号）

▼平成24年度滑川市下水道事業特別会計補正予算（第1号）

◆滑川市印鑑条例の一部を改正する条例の制定について

◆滑川市企業立地の促進等による地域における産業集積の形成及び活性化に関する法律第10条第1項の規定に基づく準則を定める条例の一部を改正する条例の制定について

◆滑川市在宅福祉介護手当支給条例の一部を改正する条例の制定について

◆滑川市火葬場条例の一部を改正する条例の制定について

◆地方自治法第179条による専決処分の承認を求めることについて

◆富山県後期高齢者医療広域連合規約の変更について

平成24年第1回市議会臨時会の

委員会の審査から

■総務文教消防委員会

審査議案は1議案であり、原案のとおり可決すべきものと決定しました。

◆工事請負契約の締結について

■産業厚生建設委員会

審査議案は1議案であり、原案のとおり承認すべきものと決定しました。

◆地方自治法第179条による専決処分の承認を求めることについて

滑川市議会議員研修会

5月18日（金）午前10時から午後3時の間、市役所3階大会議室において、全国市議会議長会から講師を招き、議員研修会を開催しました。



議員研修会
本橋講師（右）：市役所3階大会議室

「議会の現状と課題について」を演題に、議会改革に対する考え方やこれからの議会のあり方、地方自治法の一部改正案など、全国的な動向や先進事例を交えて、講義を受けま

した。その後の質疑応答の時間では、講義内容の質問はもとより、現在取り組んでいる議会改革についても質問や議論が交わされました。

産業厚生建設委員会

行政視察報告 （6月26日～28日）

◆岩手県金ケ崎町（城内諏訪小路重要伝統的建造物群保存地区・町並み保存とまちづくり）

◎伝統的建造物群とは、「周囲の環境と一体をなして歴史的風致を形成している伝統的な建造物群で価値の高いもの」をいい、この金ケ崎要害は、伊達氏が藩の重要拠点に家臣を配置し、治世にあたらせ「仙台湾二十一要害」のひとつ。◇旧家臣の子孫である住民らが、先祖からの財産を守る意思を伝えるため、記録集（『諏訪小路』その今と昔）、『城内史』を発行した。この住民発意の記録集発行を受けて、平成3年度に町による町並み調査等が実施され、平成13年に保存地区に選定される。面積は約34・8ヘクタールで地区内には約120軒ある。◇条例で建築物や工作物の新築や改築等、宅地の造成、開墾等には許可が必要である（高さ10メートル以内、屋根色は黒か



防風防雪防暑対策のエグネ（屋敷林）を敷地の北西部に配置

茶、土壁・しっくい、板壁など）。ただし、保存計画の基準に準ずる場合は、補助制度や固定資産税の減免措置がある。

◇城内町並み保存会などの関連団体が6団体あり、白糸まちなみ交流館や旧侍住宅等の指定管理者、ボランティアガイド、物産販売、講習会などを行っている。◇問題点や課題としては、江戸時代から明治時代の町並みのため、駐車場という概念がない。いいものはみんなに見せたいという町の思いもあるが、選定時に観光地にしないで欲しいという住民要望があった。お客さんに見ていただくのと保存という考え方が矛盾することもあり苦慮している。人が住んでいる場所であり観光地ではない。文化財、景観を見るのみで、看板も設置しないという考え方であったが、面積が広いので、苦情もあり最低限の標柱を設置している。現在は、太陽光発電システムの普及など、景観維持と機能性とのバランスに苦慮しているとのことであった。

◆岩手県山田町（震災瓦れきの状況等について）

◎岩手県災害廃棄物処理計画では、平成26年3月末までに処理完了を目標

◇仮置き場は、山田町の観光拠点であった船越公園、家族旅行村、鯨と海の科学館約22ヘクタール（東京ドームの約5倍）◇柱材・角材については、静岡県島田市他で本格焼却中である。◇富山県へは、可燃系の混合物で主に破碎選別ヤードで選別され木材のチップ状になったものを依頼予定とのことである。◇不燃物については、計画に大きな変更があり、復興資材等に使われる。◇静岡県島田市での試験結果は、災害廃棄物の空間線量率、放射能濃度、焼却灰等の放射性セシウム濃度のいずれも検出限界以下または基準値よりかなり低い数値であった。搬出方法は、JRでコンテナ輸送し、コンテナは途中で開かれることはない。◇山田町でのH24年5月末までの処理割合は全体の約5・3％とのこと。

放射線量測定結果（参考）

滑川市役所駐車場	0.10 μ Sv/h
黒埼PA（下り）	0.18 μ Sv/h
磐梯山SA（上り）	0.20 μ Sv/h
菅生PA（下り）	0.08 μ Sv/h
金ヶ崎町（視察先）	0.08 μ Sv/h
山田町役場駐車場	0.08 μ Sv/h
〃 瓦れき集積場	0.07 μ Sv/h
国見SA（上り）	0.50 μ Sv/h

※地上 1 m 付近で、数分間測定



山田町破碎選別施設にて

Q. 柱材・角材に分類されたものの推計量約 7 万トンが 2 万トンに減り、静岡県で全量処理できるとのことだが、富山県にはどのようなものが搬出されるのか。A. 可燃物に分類されたもので、現在破碎選別施設で破碎・選別された木材の部分だけをお願ひすることになる。

◆破碎選別施設（瓦れき集積場）

◎ 1 日 200 トンの可燃混合物を 2 次施設へ運搬し、可燃物は 1 日 100 ～ 140 トン選別されている。◇ 漁業の町なので、魚網類が多量にある。◇ コンクリートが現在 8 万トン、最終的には住宅の基礎部分などで 20 万トン位になる見込みとのこと。

総務文教消防委員会

行政視察報告

（7 月 4 日～ 6 日）

◆ 滋賀県守山市（野洲川歴史公園サッカー場 ビッグレイク）

◎ 公式競技が可能なサッカー場 3 面（天然芝 1 面、人工芝 2 面）をはじめ、クラブハウス・夜間照明が整備された施設である。◇ 郊外のため、交通の便も悪く子どもが簡単に自転車で来られる場所ではないが、バスの運行もあり、ピッチは予約でいっぱいになっている。全国規模の大会の開催実績もあり、乗用車 225 台、バスが 15 台の駐車場を完備しているが、足りずに路上駐車が見られることもあった。◇ 管理費は年間 2 千 8 百万円ほど経費がかかるが、それを 3 コートあわせて年間 2 千万円程度の使用料収入、約 200 万円の企業からの広告収入（設置及び管理に関する条例に規定）及び市の持ち出し約 600 万円から 700 万円（野洲市との折半）で対応している。◇ 今年度に入工芝の張り替えを予定しており、ピッチ 1 面につき 1 億円かかるが、最大 3 千万円の to to の助成がある。張り替え期間は 2 カ月で、利用頻度の少ない冬場を予定している。

◆ 滋賀県近江八幡市（市立金田小学校等整備事業）

◎ 平成 20 年当初で計画が持ち上がり、既存地の南側の土地を求めて敷地を拡張し、複合的文化コミュニティゾーンの形成をしようというところで民間のノウハウを活用する形で、設計・施工一括プロポーザル方式を採用した。工事費は約 28 億円である。◇ 延床面積が 1 万 285 平米と大きな校舎だが、設計・施工一括方式のメリットによって工期が短かった。教室の間仕切りは軽量

鉄骨ボード仕切りで簡単に改修もでき、軽量化による耐震もできた。◇ 工期途中に東日本大震災が発生し、金田小学校をはじめとするコミュニティゾーンを災害時の防災拠点として充実させ、隣接するコミュニティセンターは司令塔の役割として機能させる案が浮上し、学校とともに 100 キロワットの非常用電源を備え、災害時にも機能する下水排水設備さらには、井戸を掘り電源さえあれば、水を供給し続けるシステムの構築など 3 日間のライフラインが確保できる設備とした。



近江八幡市立金田小学校にて

◆ 滋賀県長浜市（『職員のための協働ハンドブック』の作成をはじめとする市民協働への取り組みについて）

◎ 長浜市は将来像の中に「協働でつくる輝きと風格のあるまち 長浜」というふうに、「協働」という文字を入れ、市民みんなでまちづくりを行っていくと掲げている。

◇ 『協働ハンドブック』は、市民協働推進計画の策定時に市民やワーキング会議の職員から「職員の協働意識が低い」との意見や、職員からの「協働」に対する素朴な疑問などから「協働推進への職員の意識改革」を行うために作成した。ことし 6 月にできた市民協働推進計画とともに、このハ

ンドブックもできて間もないため、十分な成果及び目に見えた成果は今はいないが、ことし 4 月採用の新規採用職員研修などに活用され、8 月以降にも全職員を対象に「協働」に関する研修会も予定されており、職員への意識啓発が進むものと期待されている。

◆ 福井県鯖江市（鯖江市民主役条例の制定及び提案型市民主役事業化制度について）

◎ 市制 55 周年に際し、市長から「市民主役条例」をつくりたいとの意思表示があり、「市民の力を最大限活用する」ということをモットーにしていたので、それを理念的に担保するものとして、市民がワークショップ形式でつくり上げ、条文も市民の発想をそのまま取り入れるスタイルで、「です・ます」調で非常に柔らかな文体とした。

◇ 「提案型市民主役事業化制度」は今市が行っている事業をその趣旨を生かして市民にやってもらう制度である。市事業を一旦整理して市民にやっていた業務の整理を行う。人件費が浮いたり、いままでも市が主催し収入のなかった事業が、市民が主催し、料金設定の提案をすることで収入を得ることができるようになった、などメリットもある。しかし、逆に人件費部分がかさんでしまうことや市がやっていたときよりも費用がかかってしまうデメリットもあり、議会から追及を受けることもあった。



キリンのひゅちメモ

第 2 回は、誌面の都合上、お休みいたします。

議会放送と 録画放送のご案内

市議会定例会の本会議の様子は、ケーブルテレビ092チャンネル（アナログは8チャンネル）で、生放送及び録画放送を実施しております。

次回の市議会定例会の本会議の放送は、9月に予定しておりますので、是非、ご視聴ください。

なお、定例会の日程及び放送時間等については、市広報（9月号）・ケーブルテレビ等を通じてご案内します。



議会報編集委員会から

「市議会だより」について、皆さんのご意見をお寄せください。市議会の本会議は、ケーブルテレビで放送しておりますが、議場で直接、傍聴してみませんか。詳しくは、事務局までご連絡ください。

電話 475-2111（内線371）

議会報編集委員

水野達夫委員長
前田新作副委員長
岩城晶巳委員
古沢利之委員
中川 勲委員
野末利夫委員

6月定例会での①議員提出議案、②意見書提出要請、③要望書について

件名及び提出者

処理結果

① 議員提出議案（2件）

- 議員提出議案第5号 防災対策など住民の安心・安全を支える行政サービスの体制・機能の充実を求める意見書
.....本会議結果＝可決
滑川市議会議員 中 川 勲 外5名
- 議員提出議案第6号 地方財政の充実・強化を求める意見書本会議結果＝可決
滑川市議会議員 古 沢 利 之 外5名

② 意見書提出要請（2件）

- 防災対策など住民の安心・安全を支える行政サービスの体制・機能の充実を求める意見書.....議会運営委員会一致
富山県国家公務員労働組合協議会 議長 栗 山 剛 （議員提出議案第5号へ）
- 地方財政の充実・強化を求める意見書.....議会運営委員会一致
滑川市議会議員 水 野 達 夫 （議員提出議案第6号へ）

③ 要望書（2件）

- 滑川市民大ホールの耐震指標の改ざん問題について真相の徹底究明を求める要望書.....全議員へ参考配付
耐震指標改ざん問題を糾す会 代表 島 川 実
- 地球社会建設決議に関する陳情書.....全議員へ参考配付
荒 木 實

6月定例会での本会議の結果について

議案内容等

採決結果

- ◎議案第54号～議案第62号 原案可決・承認（賛成全員）
平成24年度滑川市一般会計補正予算（第1号）外8件
- ◎議案第63号 人権擁護委員候補者の推薦について 原案異議なし（賛成全員）
- ◎議案第64号 人権擁護委員候補者の推薦について 原案異議なし（賛成全員）
- ◎議員提出議案第5号 原案可決（賛成全員）
防災対策など住民の安心・安全を支える行政サービスの体制・機能の充実を求める意見書
- ◎議員提出議案第6号..... 原案可決（賛成全員）
地方財政の充実・強化を求める意見書
- ◎議員派遣について..... 原案可決（賛成全員）

第1回市議会臨時会での結果について

議案内容等

採決結果

- ◎議案第65号、議案第66号 原案可決・承認（賛成全員）
工事請負契約の締結について外1件